

10月

# 尾久二だより

令和4年9月30日  
荒川区立尾久第二幼稚園  
園長



## 共に過ごすことの喜び

主任教諭

今月の始めはまだ残暑が厳しく、子供たちは汗をかきながら登園してきましたが、もうすっかり心地の良い風と優しい虫の音が聞こえる秋になりました。幼稚園では、子供たちが爽やかな秋風が吹く中体を動かしたり、園庭で木の実を拾ったり虫を捕まえたりして、諸感覚を使ってこの季節を十分に味わっています。

先日、年中りす組が小学校の体育館をお借りしてかけっこを楽しんできました。かけっこでは、2,3人ずつ走り、走り終わった子供たちは次に走る子を応援します。「がんばれ!」と力いっぱい応援し、「はやかったね」「ふたりともいちばんだよ」と声を掛けたり、「つかれたー!」と満足そうな表情で顔を見合わせて笑ったりする様子がありました。友達と寄り添いあいながら、同じ場で同じ感情をもち、楽しさを共有する姿に、子供たちがりす組を自分の居場所だと思い安心して過ごしていることが感じ取れました。

子供たちは集団生活の中で、心を動かす出来事を共有することで相手に関心をもったり、良さや違いに気付いていたりします。これからも、幼児期の人間関係において大切な、共に過ごすことやつながることの喜びを感じられる体験を積み重ねられるようにしたいと思います。

来月には運動会があります。子供たちの頑張りはもちろん、幼稚園で先生や友達と共に過ごし楽しんでいることを感じて頂ければ幸いです。当日はたくさんの拍手と応援をよろしくお願いいたします。



## 9月の子供たち ~先生や友達と~

ホームページでも少しずつお伝えしていきます。是非ご覧ください。

手をつないで帰ろう。  
先生も友だちも大好き。



忍者修行のダンスをしている友達を、カメラ撮影しながら見るりす組の子供たち。まるで舞台鑑賞のようです。



年長は運動会の取り組みで、たくさん新しいことや難しいことに挑戦しています。でもそればかりではなく、友達と好きな遊びでゆったりと遊ぶ時間も大切にしています。



## 10月のねらい



うさぎ組

- 友達に関心をもち、一緒に遊ぶことを楽しむ
- 教師や友達と体を動かすことを楽しむ
- 身近な自然に触れ、季節の自然に親しむ



りす組

- 友達と一緒に体を伸び伸びと動かす楽しさと心地よさを味わう。
- 友達と関わって遊ぶことを楽しみ、自分の思いを相手に表していく。
- 秋の自然物に触れ、見たり遊びに使ったりして楽しむ。



いるか組

- 自分なりのめあてをもって運動遊びに取り組み、力を発揮する楽しさや充実感を味わう。
- 友達と共通の目的に向かって、協力して遊びや生活を進める楽しさを味わう。
- 秋の自然に触れ、生活や遊びに取り入れ、表現することを楽しむ。